

学年・教科・担当者	2年	音楽科	小池 基文
-----------	----	-----	-------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	6	表情豊かな歌唱表現 鑑賞 「小フーガ ト短調」	曲のもつ情緒を味わい、それを支える音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、表現を工夫する。 声部の多声的な重なり方の知覚・感受を通して、多声音楽のおもしろさを知る。
	7	音楽の構成を工夫して 音楽の構成を生かして	さまざまな音素材の特徴を生かして、音楽の構成を工夫する。 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、音楽の構成を生かした表現を工夫する。
2	8	合唱表現の工夫と指揮	曲の味わいや特徴を支える速度や強弱の変化などの働きを知覚・感受して、表現を工夫する。 指揮を通して表現の工夫をする。
	9	鑑賞	モチーフ（動機）がどのように使われているのかを探りながら「ソナタ形式」のしくみを理解し、それが西洋音楽の特徴の一つであることを知る。
	10	「交響曲第5番ハ短調」	
	11	日本の郷土芸能	それぞれの芸能が生まれた背景を知り、その音楽の良さを味わう。
	12	世界の諸民族の音楽	世界各地さまざまな民族の音楽を知り、声や楽器の音色の特徴を感じ取る。
	1	箏の表現を生かして	箏の表現を味わい、深めながら、特徴を生かして活動する。

3	2	鑑賞 オペラ 声部の重なり方の理解と表現の工夫	物語の進行を理解し、音楽と舞台が一体となって表現される総合芸術に親む。
	3		ユニゾンや和声的・多声的な音の重なりによって生み出される味わいを感じ取り、それぞれにふさわしい表現を工夫する。

評価について	
評価の観点	評価の方法
①音楽への関心・意欲・態度	授業への取り組み 定期考査
②音楽表現の創意工夫	授業への取り組み 定期考査
③音楽表現の技能	授業への取り組み 定期考査
④鑑賞の能力	授業への取り組み 定期考査